

SAK2021 年度 車山皿行事

公認スキー準指導員検定会 (SAK2021 年度分)

公認スキーB・C級 公認検定員検定会 (SAK2021 年度分)

認定スキー指導員検定会 (SAK2021 年度分)

日付：2022年2月19日(土)～20日(日)

場所：車山高原 SKYPARK スキー場

報告：広報 佐野 肇

上記、日程で3検定とクラウン・テクニカルプライズの検定会が行われました。天候は2日間とも、検定実施中は晴れたり曇ったりの天気の中で行われました。ただ19日の夕方から20日未明にかけてかなりの雪が降り、20日の朝は道路の除雪、車の立ち往生、上部のリフトの運転開始が出来ず、検定会のスタートが1時間程遅れての開始となりました。また上部リフトの運転開始の遅れや、ゲレンデの除雪、均し等も遅れ、検定バーンを変更しての開催となりました。今年は例年になく雪も豊富で、車山高原にしてはかなりの積雪量に加え、アイスバーンでなく、新雪も交えた割と雪質の良い中での検定となりました。

残念ではありますが新型コロナの感染拡大を受け、開会式と閉会式は取り止め、各受験者は感染防止のため、健康チェックシートの提出と検温を実施して受付をしました。受付は、18日(金)20時30分～21時30分、19日(土)7時30分～8時30分に分けて行われました。開会式と閉会式を行わない代わりに、神奈川県スキー連盟教育本部 堀本部長と車山 SKYPARK スキー場吉池支配人より書面にてメッセージを頂きました。



18日(金)夜の受付の様子



19日(土)朝の受付の様子

◇ 準指導員、B・C級 理論検定

準指導員、B・C級検定の理論検定は、19日(土)19時から20時30分まで、スカイプラザ2階食堂全部を試験会場に使い、新型コロナ対策のため蜜にならないように、一人一つのテーブルで出来るだけ間隔を空け実施しました。理論検定を終えた方の数人にお話を聞きました。何人の方は「出来た」と満足そうに会場をあとにされた方もいましたが、「難しかった」と言われた方、具体的にこの部分が出来なかったと言われた方、中には、「国語力が問われた」という方もいらっしゃいました。皆さん、お疲れ様でした。



準指導員理論検定



B・C級理論検定

◇ 検定結果発表

準指導員検定、認定指導員検定、B・C級検定員検定の発表は、ホームページ上での発表となり、合格証は後日、参加役員（堀教育本部長）の挨拶文と地元関係者（車山高原 SKYPARK スキー場支配人 吉池様）の挨拶文を同封して郵送ということになりました。ただ、テクニカル・クラウンプライズ検定のみ、受験人数も少ないということもあり、スカイプラザ1階にて結果発表の成績を貼り出し、クラウンプライズ合格者1名に合格証を授与致しました。



プライズテスト結果掲示



合格者



合格者

各検定受験者数と合格者数は、下記のとおりです。

	受検者	合格者
準指導員検定	49名(申込者51名)	18名
認定指導者検定	3名	3名
B級検定員検定	3名	3名
C級検定員検定	13名	13名
クラウンプライズ検定	4名	1名
テクニカルプライズ検定	7名	0名

◇ 準指導員、認定指導員 A 検定会 主任講師講評

新型コロナウイルス感染症の影響により養成講習会に参加できずに受検された方に、基礎種目を落とす方が目立ってしまいました。

そんな中でも教程教本のしっかりとした理解を示されている方も多くみられて安心させてもらいました。

合格を勝ち取られた方、残念な結果に終わった方もこれは一つの過程だと思います。

今後も技術探求を進めていってほしいと思います。



準指導員検定 横滑り



準指導員検定 プルークボーゲン



準指導員検定 基礎パラレルの展開



準指導員検定 基礎パラ小回り



準指導員検定 総合滑走



準指導員検定 不整地小回り



認定指導員検定 プルークボーゲン



認定指導員検定 基礎平行



認定指導員検定 横滑り

◇ クラウン・テクニカルプライズ検定会、検定員総評

前日の事前講習と違い、降雪によりだいぶ状況が変わりました。その中でスキーを上手く操作するためには、エッチングの方法やポジショニングが大切となります。外スキーと身体が離れ過ぎてしまうと、スキーの角が立ち過ぎてしまい上手くスキーを動かさせません。外よりのポジションでエッチングのコントロールすることが必要となります。特にショートターンは、スピードをコントロールする必要があります。この雪の状況ではスキーを動かすことが難しいため、エッチングが浅くなってしまったりすると上手く滑ることができません。

プライズテスト受検には、級別テストにはない高度な技術が求められます。スキーのズレをターン前半にもってくるためのポジション、エッジングなどを身に付け、あらゆる状況下でもコントロールできるようにしましょう。



クラウンプライズ検定、不整地小回り



テクニカルプライズ、不整地小回り

◇ BC 級検定員検定会受験者への評価の観点について事前説明

◇ B・C 級検定員検定主任検定員解説

1. プルークボーゲンの評価の観点について

指導者 原点で求められるプルークボーゲンは、初歩動作の指導の展開のプルークボーゲンの出口、これからパラレルターンに結び付ける所の比較的習熟度の高いところの表現を求められています。具体的に言えばインエッジとインエッジの保持、あるいはスキーの滑走性を活用してターンの原動力とすること。左右差のないスキー操作。あとはバランスそこが主な評価の観点になります。

2. パラレルターンの小回りの評価の観点について

小回りについては指導の展開のうちでいうと、応用の手前のところの技術の表現になります。ただし、基礎的な要素と効果を含んで表現しなければいけないので極端なカービングだとか、強いエッジングとかの表現は求められていません。あくまでもプルークボーゲンからパラレルターンに移行してきた技術の集約として、バランスとか脚の屈曲、伸展による前後のバランス、ターンについてはスピードのコントロール、というところが評価の観点になります。ズレ幅についてはどれだけずれなければいけないとかずれてはいけないとか、切らなくてはいけないとか、ということではなくて、運動の本質を見ていただければいいと思います。

3. シュテムターンの評価の観点について

シュテムターンは指導の展開の中で言えば、かじ取りの平行スタンスでのカービングの習得というところが大きな目的になっています。この課題もとじ込みの遅いものから早いものがありますけども、指導者検定においてはとじ込みの早いものを課題としています。但し、とじ込みの早い、とじ込みを早くすることによって身体のローテーションというところが減点の対象になる。基本的な考え方は外スキーのバランスが取れて、内スキーの引き寄せが可能となるということが重要になると思います。



◇ 参加役員代表 教育本部長 堀祐樹 挨拶

検定会お疲れさまでした。昨年に続きコロナの影響で、オンラインによる理論講習会、特例措置による養成実技の中止等、受検者のみなさんにとって目まぐるしく状況が変わる中、無事検定会に参加して頂きホッとしています。検定会という性質上、合否は必ず付きますが、合格した方、残念ながら目的に至らなかった方、それぞれ課題がたくさん見つかったと思います。

結果に甘んじることなくさらに素晴らしいスキーヤーになるべく研鑽を積んで頂きたいと思います。受検するにあたり、家族の方、クラブの方、職場の方に感謝をし、この経験を今後活かして頂きたいと思います。



◇ 地元関係者代表 車山高原 SKYPARK スキー場 支配人 吉池仁史 様 ご挨拶

昼夜、2 日間に亙る検定会お疲れ様でした。今シーズンは例年と天候の様子が違っておりまして、青空の中での開催とはなりませんでしたので、移動等も大変だった事と思います。また、昨年に引き続きのコロナ禍での検定会となりました。養成講習会の中止等、受検者のみなさまにおかれましては、調整も大変だった事と思います。

そんな中、合格された方、本当におめでとうございます。この喜びを忘れずに更なる高みを目指すと同時に、指導者として一人でも多くの方々にスキーの技術や楽しさも教えて頂きたいと思います。また、残念ながら不合格だった方、この悔しさを忘れず、是非ともまた車山高原 SKYPARK スキー場で再チャレンジ頂きたいと思います。研修会や検定会に参加頂いたみなさまに、「またプライベートでも来よう」言って頂けるようなスキー場を目標に取り組んでおります。スキーシーズンも折返し点を過ぎましたが、冒頭でも申し上げたように天然降雪に恵まれ、車山らしからぬコンディションをキープしております。3 月にはまん延防止措置も解除になる見込みですが、感染対策等、気を緩めないよう取り組んで参ります。どうぞお仲間ともう一度足を運んで頂きますようお願い申し上げます。検定会の開催にあたりご苦勞頂きました役員の皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしくようお願い申し上げます。



最後になりますが、検定会ご参加の選手、サポートのみなさま、また神奈川県スキー連盟みなさまの益々のご活躍とご健勝を記念いたしまして、御礼の挨拶とさせていただきます。